

「みんなの日本～京都編」

きょうとぶんきょうだいがくきょうじゆ
京都文教大学教授

すぎもと せいこ
杉本 星子



せんねん みやこ きょうと ＜千年の都 京都＞

きょうと こと ことば に あ まち
京都ほど、「古都」という言葉が似合う町はないでしょう。

ねん かん むてんのう へいあんきょう みやこ うつ せんねん ねん てんのう どうきょう うつ
794年に桓武天皇が平安京に都を遷してから千年あまり。1869年に天皇が東京に遷るまで、
京都はずっと日本の都でした。そして今も、京都は日本の伝統文化の中心であり続けています。

きょうと きんかくじ きみずでら せかい いさん こと きょうと ぶん かざい にんてい じしゅ てん
京都には、金閣寺や清水寺など、世界遺産「古都京都の文化財」に認定された17の寺社が点
ざい ざい う じ びょうどういん へいあんちゅうき せいき きゅうてい ふたい
在しています。そのひとつである宇治の平等院は、平安中期すなわち10世紀の宮廷を舞台にし
ちやうへんしやうせつ げん じ ものがたり しゅじんこうひかるげん じ みなもとのとおる へつそう
た長編小説「源氏物語」の、主人公光源氏のモデルとされる 源 融の別荘だったといわれて
います。宇治十帖と呼ばれる物語 後段のヒロイン浮船が眺めた山々や身を投げた宇治川の流れ
いま かわ ひかるげん じ つま あおいのうえ こいびと ろくじょう みやどころ であ あおいまつり さいれい げん
は、今も変わりません。光源氏の妻の葵上と恋人の六条御息所が出会った葵祭の祭礼も、現
ざい おこな せんねんまえ ものがたり せかい おな ふうけい み
在なお行われています。このように、千年前の物語の世界と同じ風景に身をおくことができるの
こと きょうと みりょく
が、「古都」京都の魅力です。

あおいまつり じたいさい きょうとさんだいまつり かぞ ぎ おんまつり せい き はじ いちじとだ
葵祭、時代祭とともに京都三大祭に数えられる祇園祭は、9世紀に始まり、一時途絶えましたが、
ねん さいこう げんざい つつ まつ と き しちゅう めく ほこ やま せい
1500年に再興されて現在まで続いています。祭りの時に市中を巡る9つの鉾と23の山には、16世
紀 せい き ちゅうこく かざ うご びじゅつかん よ
紀～18世紀の中国やペルシヤ、ベルギーなどのタペストリーが飾られ、「動く美術館」と呼ばれ
ています。「動く文化財」といえば、舞妓さんもそういえます。彼女たちの着物や簪はまさに芸



きょうと
京都

じゅつひん まいこ じしん おど がっき でんとうぶんか
術品ですし、舞妓さん自身、踊りや楽器といった伝統文化のプロフェッショナルなのです。

きょうと じしゅ かんこうち いぜん しんこううかん とお やま しゅっけい にわ まちや
京都の寺社は、観光地である以前に信仰空間です。遠くの山を借景とした庭も、町屋とよば
れる家も、人々の生活空間です。京料理や和菓子も、日常生活のなかで受け継がれています。
きょうと おどず ひと おお きょうと こい れきし ふる けしき うつく
京都を訪れた人の多くが「京都に恋して」しまうのは、たんに歴史が古く景色が美しいからでな
く、生活のなかに千年の伝統が息づいているからではないでしょうか。

プロフィール

すぎもと せいこ
杉本 星子

きょうとぶんきょうだいがくにんげんがくぶ ぶんか じんるいがく か きょうじゅ せんもん ぶんか じんるいがく みなみ けんきゅう
京都文教大学人間学部文化人類学科・教授。専門は文化人類学、南アジア研究。

おも ちよしよ きょうどうけんきゅうせんこ せいかつ きろく つる みかず こぶんこ たいわ みらい つうしん ねん
主な著書：『共同研究 戦後の生活記録にまなぶ－鶴見和子文庫との対話・未来への通信』（2009年、

にしかわゆうこ すぎもとせいこへん にほんとしよ
西川祐子・杉本星子編、日本図書センター）、『サリー！サリー！サリー！：インド・ファッションをフィー

ルドワーク』（2009年、京都文教大学ブックレットNo.2、風響社）、『「女神の村」の民族誌現代インド

ぶんか しほん かぞく しゅうきょう ねん ふうきょうしゅ
の文化資本としての家族・カースト・宗教』（2006年、風響社）など。